



幅広いニーズへの対応が大賞の決め手に やちよサービス大賞の表彰式を開催

市内で優れたサービスを提供している事業者の士気を高めるため、やちよサービス大賞を決定し、2月21日に表彰式が行われました。大賞受賞の理容・美容室の①フィールドヘア（ゆりのき台）には、理・美容室とファミリーサロンが併設し、ヘッドスパやフットケアの個室を完備。子どもが楽しみながらカットできる工夫を凝らすなど、幅広いニーズに答えていることが受賞の決め手になりました。優秀賞に自動車整備業の②(株)太洋自動車整備工場（八千代台西）、新聞・家電販売のほか生活面でのサポートを行う③(株)ワイシーエス（高津）、創業賞に児童発達支援を行う④キッズ・パワー(株)（萱田）が入賞。フィールドヘア堀田オーナーは、大賞に恥じないように、サービスの品質を向上させて、頑張っていきたいと話していました。



▲左から②堀田聡さん、①堀田章浩さん、③館坂民和さん、④古澤孝之さん

新たな仲間づくりや情報交換 ボランティアカフェを開催

「こんなことをやってみたい」「誰かの力になりたい」など、市民活動団体などが集まって交流できるカフェが2月23日、福祉センターで開催されました。ボランティアカフェは、市民や団体が新たな仲間づくりや情報交換、互いに活動するきっかけづくりを目的に初めて開催。市民活動サポートセンター11団体とボランティアセンター10団体のほか、多くの市民などが参加しました。会場では、来場者への活動紹介や実演のほか、団体の会員同士で交流し、活動へのメンバーの勧誘なども行われました。いろいろなボランティアに参加してみたい。さまざまな活動している団体と出会えてよかったなどの意見がありました。



▲カフェで新しい出会いが生まれました

当時の人たちの知恵と工夫

—八千代市にやってきた旧石器時代の人々—

2月23日・24日、緑が丘公民館で石器の展示会が行われました。約3万8,000年前に大陸から日本へと渡ってきた人たちが残したもので、萱田遺跡群から発掘されました。一部を研磨し木を伐採するおの刃として使ったり、形を台形に整えて槍先などに使ったりしていたと考えられています。住んでいる地域の環境に合わせて巧みな生活様式を生み出し、その中で作られた石器には知恵と工夫が詰まっています。訪れた人も何か想像するように興味深く見ていました。展示会は4月6日(土)・7日(日)午前9時30分からオーエンス八千代市民ギャラリーでも開催します。



▲縄文土器や墨書土器も展示されました

素朴で愛情のこもった温かい味

2月23日に大和田公民館で開催された親子料理教室で、八千代に伝わる懐かしい味「高津のとり飯」や「ばらっぱまんじゅう」を作りました。とり飯は、味付けは醤油、混ぜるのは鶏肉だけ。まんじゅうは、あんこをまんじゅうの皮で包み、座布団のように「ばらっぱ（サルトリイバラ）」の葉を下に敷きます。ほかにも、薄力粉と砂糖、醤油などで、メリケン粉焼きも作りました。参加



▲醤油で煮た小さい鶏肉をごはんに混ぜます

●高津のとり飯

①小指の先ほどの大きさに鶏肉を切る



②鍋にお醤油と鶏肉を入れ、混ぜながら、ほぼ煮汁がなくなるまで煮る



③炊き上がったご飯に煮た鶏肉を混ぜて出来上がり



大和田公民館の親子料理教室

者から「高津のとり飯を初めて知りました」という声や、普段は食が細い子もおかわりして「夕食に作ってみよう」との声もあり、シンプルな味付けは好評でした。今とは違い、物が手に入りやすい時代に、少ない食材を大切に作った料理です。鶏肉を小さく切るのも、盛り分けるときみんなに行き渡らせるようにする工夫だとか。忙しく手間暇かけられない中で、少しでも家族に美味しいと言ってもらえるように、素朴で愛情のこもった温かさを味わうことができます。

災害時にダンボールを供給 山田ダンボール(株)との協力協定



▲左から服部市長と中川孝昭代表取締役社長

2月6日、市と山田ダンボール株式会社千葉工場は、災害時におけるダンボール製品の供給協力に関する協定を締結しました。

災害が発生したときに避難所で、シートや間仕切りとして、軽くて組み立ての簡単なダンボールが提供されます。エコノミークラス症候群の予防やプライバシーの確保など、より良い生活環境をつくるために活用させていただきます。

八千代歌壇

佐波 洋子選

「霜けたね」「梅が咲いたね」「暑いね」の朝の会話の絶えて一回忌 (八千代台北) 村田 一江
台風が倒れしブドウの蔓つたい藍ふかく咲く甲斐の朝顔 (八千代台東) 藤井 京子
スーパリーの散らしに今日も載りておりふるさと養老の天然水が (八千代台南) 桑原 慎子
補聴器を探し探して三週間「アツ、あった」との声裏返る (八千代台北) 秋山富美子
迷わずに真紅をえらぶシクラメン胸に包んだ青春の光 (八千代台北) 若菜 欽子
閉鎖されし母校のキャンパス立ち寄ればおはようおつかれじゃあねが浮かぶ (勝 田 台) 星川慎之佐
傘寿まで二年を切りし今朝の春二碗の雑煮諭す娘が居て (大和田新田) 小針 光
枝先の柿の病葉風立ちてくるりめぐるも枝より落ちつ (勝 田 台) 鈴木 悦秀

選評

一首目、上の句は長年交わされて来て、会話がなくなつて一年つまり一周忌だという運びが巧み。相手は夫と解した。結句は一周忌の方が分り安い。二首目、写実的に風景を切り取り、葡萄の蔓と朝顔の取り合わせが絵になる。結句で土地への心寄せを出した。三首目、日常的な素材から作者の哀愁へと広がる。「散らし」はカタカナが馴染む。養老は元正天皇の命名にちなみ元号となった。岐阜県の親孝行伝説から若返りの滝の水が町名の由来とか。日本の名水百選でもある。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

何時からか足が一本増えました 八千代台東 向井譲り葉
説明は自慢話のオマケ付き 大和田新田 江頭 牛歩
宵の猫伴侶の甘い香を探し 八千代台北 渡邊ひろし
子に掛けた投資金額まだ赤字 下高野 廣田 高見
今日からの断酒に友からの誘い 大和田新田 矢澤 光江
霜を踏む音に惹かれて弾む靴 高 津 岡田やほこ
幸せと思う小さなこと一つ 村上団地 手塚 俊子
おみくじの凶は黙ってすぐ仕舞う 勝田台北 川井よし雪
山深い秘湯で暇をもてあまし 勝田台 八巻ちほこ
使い方次第スマホは知恵袋 勝田台 吉崎瑠璃子
リハビリへ豆追いかける箸使い 萱 田 鈴木みち子

リサイクル・ガイド

消費生活センター 画483-1151(代表)
「ゆずります・無料」▼大人用学習机(入付き)／長さ1m×奥行65cm×高さ75cm ▼テーブル付き乳幼児用ハイチェア(パイプ式)
◆市役所1階ロビーにもリサイクル品情報を掲示。市ホームページでも紹介しています。